

一九七八年度

武井賞発表演奏会

武井賞の概略

武井賞は、武井守成氏が亡くなられて間もない昭和27年に設立されました。武井氏は云うまでもなく日本のギターの歴史に大きな功績を残された方です。

設立当時の委員会は色々の事情で自然消滅の形となり、その間は日本ギター連盟の手に委ねられた様な状態で何年かを経過しました。

それが昭和45年にギ連を離れて新たに組織を改めて新発足して現在まで、毎年該当する曲を選んで作曲者に賞を贈っておりますが作曲家の積極的な参加を希望すると共に委員会は入賞曲が広く演奏会に採り上げられ、創作活動を益々促進させる様運動を展開して行きたいと存じます。

此の様な仕事にも或程度の資金は必要な事は勿論で現在までは殆んど理解ある方の寄附とか、各々の委員が負担しておりました。その様な状態では長続きしませんし、又より良い運営も出来ませんので、毎年コンサートを開催して基金を作つて行き度い所存であります。

何卒、皆様方の今後の御理解ある御協力をお願い申上げる次第です。

昭和54年3月30日

武井賞委員会一同

武井賞委員会委員氏名

宇田川 禎一	小 胎	剛	小 原 安 正
兼 古 隆 雄	小 山 文 雄	今 野 有 二	
清 水 環	荘 村 正 人	鈴 木 巖	
杉 田 村 雄	高 木 孝	中 林 淳 真	
芳志戸 幹 雄	吉 田 光 三		

前年度までの受賞者氏名

清 水 環	鈴 木 巖	青山 梓(故)
林 光	間 宮 芳 生	野呂 武夫(故)
下 山 一 二 三	西 原 弦 志	江 崎 健 次 郎
中 林 淳 真	菅 野 浩 和	尖 戸 睦 郎
早 川 正 昭	小 胎 剛	原 嘉 寿 子
山 岸 磨 夫	上 田 雅 直	宗 像 和
鈴 木 巖	舟 橋 三十子	

■ 日 時 1979.3.30.(金) 7:00

■ 場 所 ルーテル市ヶ谷センター

● 主 催 武 井 賞 委 員 会

● 後 援 社団法人日本ギター連盟
ギター作曲家集団
オルケストラ・シンフォニカ・タケイ

芳志戸幹雄 ドイツルネッサンスの舞曲集…作者不詳
 第四の王のエスタンピ……………作者不詳

鈴木 巖 聖母とその子……………E. プホール
 マジョルカ……………I. アルベニス

二重奏
 宇田川禎一 アンクラージュマン……………F. ソル

小山 文雄

二重奏
 小原 安正 箏曲「千鳥」による幻想曲…小原安正
 前川 博信 声(しよう)……………小胎剛

五重奏
 清水 環

今野 有二 朝靄に o.p. 76……………武井守成

小胎 剛 サルタス、ゲルマン……………G. B. ベサルド
 (O. キレソツティ編)

吉田 光三 仮面……………プロコフィエフ

石黒不二夫
 (ギターローネ)

授賞式

(司会) 委員 今野 有二

受賞者 野田 暉行

賞状贈呈……………委員長 清水 環

祝詞及賞金贈呈……………O. S. T 理事長 杉田 村雄

選考経過報告……………会長 小原 安正

受賞者挨拶……………野田 暉行

受賞曲演奏

兼古 隆雄 インテルメッツォ……………野田 暉行

~~~~~

O. S. T. 理事長杉田村雄氏より5万円を武井賞委員会の基金として御寄附いただきました。

~~~~~



野田 暉行

略 歴

1940年6月 津市に生れる

1959年より 池内友次郎氏に師事

1967年 東京芸術大学大学院卒。その間作曲を池内友次郎、矢代秋雄、島岡譲、指揮を渡辺暁雄、ピアノを川上きよ、小島準子の各氏に師事

1963年 毎日NHK音楽コンクール管弦楽曲第1位

1964年 東京都百年記念祝典曲優秀賞

1971年 芸術祭優秀賞

1974年 イタリア放送協会賞

1977年 尾高賞

現在 東京芸術大学作曲科助教授、桐朋学園大学講師、日本現代音楽協会委員、日本作曲家協議会委員、深新会代表委員、三重県文化審議会委員

主要作品

交響曲、コラール交響曲、4邦楽器とオーケストラのための「変容」、ピアノ協奏曲、ピアノ3重奏曲、フルートと打楽器のための「エクローグ」、邦楽器のための4重奏曲第1番～第3番、フルート・ヴァイオリン・ピアノのための「パレード」、尺八・箏・チェロのための「リフレクション」、ピアノのための「3つの展開」、ハープのための「HYMN」、合唱曲「死者の書」「青春」

インテルメッツォ (本受賞曲は兼古隆雄氏の依頼作品である) 等多数